

04 特集 JAの未来

花菊づくりを“一生”やっていきたい。

02 農業情報

12 旬の料理 山形牛の柳川風

山形牛の柳川風

新ゴボウをたっぷり入れて煮すぎずに仕上げます。
その歯ざわりと、牛肉の旨みを楽しみましょう。



●材料 (4人分)
牛モモ肉または
バラ肉スライス…200g
新ゴボウ…2本、インゲン…4本
小葱…4本、卵…4個

【煮汁】
だし汁…500cc、醤油…50cc
みりん…50cc、酒…少々

山椒または七味唐辛子…適量

ワンポイントアドバイス

夏の定番・柳川鍋といえ、ドジョウですが牛肉の他にも、焼いた穴子や、鶏肉、豚肉なども合いますよ。

佐藤貞次/「料亭 の>村」料理長。山形調理師専門学校・山形学院食物調理科非常勤講師/「料亭 の>村」は明治6年に創業。四季折々の料理と「おもてなしの心」で古き良き料亭としての伝統を守る老舗。TEL.023-641-0515、要予約。日曜・祝日定休。



1 新ゴボウは笹がきに水にさらしておく。インゲンは笹打ち（斜めに薄く切る）、小葱は1cm程の小口切りにする。卵はときほぐす。



3 だし汁、醤油、みりん、酒を合わせた煮汁を多めにはり、火にかける。強火にし、ふきこぼれないように煮る。



2 薄手の鍋に笹がきた新ゴボウを敷き、その上に一口大に切った牛肉とインゲンを盛りつける。



4 煮えたら弱火にし、上から卵とじにし、蓋をしてかるく火を通す。小葱を盛り、山椒または七味唐辛子を振りかける。

あとがき

初の試みであるクローバーの配付イベントを通して、直売所にご来店された多くの方にJAをPRすることができました。次回以降のイベントや、広報活動につながる基礎ができたと感じています。また、各部からイベントの趣旨をご理解いただき、JAが一丸となって広報活動ができたのは大きな収穫でした。これから、より効果的にJAをPRできるよう、各部と連携しながら広報活動の質を高めていきます。

農業情報

Agricultural information

■ 各営農センター

- 7月下旬
・サクランボ夏期管理講習会
・水稻展示圃生育調査
7月下旬～8月上旬
・第1回水稻航空防除
8月中旬
・第2回水稻航空防除

■ 中央営農センター

- 7月下旬
・ラ・フランス第1回園地検見
8月上旬
・廃ビニール回収
・夏期管理講習会(スモモ・モモ)

■ 西部営農センター

- 7月下旬
・圃場巡回指導(ブドウ、ラ・フランス)
7月下旬～
・小麦検査
・そば播種作業
8月上旬
・南金井種子組合圃場審査

■ 南部営農センター

- 7月中旬
・西洋梨夏期管理講習会
・デラウェア園地巡回
・航空防除安全祈願祭・安全対策会議
7月下旬
・花き販売対策会議
・ブドウ格付巡回検討会
8月上旬
・ハウスデラウェア共励会

■ 北部営農センター

- 7月中旬
・オクラ園地巡回・目揃え会
7月下旬
・ソルダム目揃え会
8月上旬
・廃プラ回収
8月中旬
・ワレモコウ目揃え会

営農ひとことアドバイス

安心・安全な農産物を消費者の皆様へ届けよう 農薬使用のポイント

使用方法の厳守

- ① 付属のラベル(説明書)を確認し、使用作物・適用病害虫・希釈倍率・使用基準等を守りましょう。
- ② 一回病気が発生すると治療が困難なため、殺菌剤は病気発生前に散布し、予防防除に努めましょう。また、圃場をこまめに見回り、害虫を発見したら早めに殺虫剤を散布しましょう。



イラスト：JA全農より

防除器具の十分な洗浄

- ① 防除器具の洗浄が不十分だと、誤って適用のない作物に農薬を散布する可能性があります。十分に注意しましょう。
- ② 防除器具を使用する前に、器具がしっかりと洗浄されているか確認します。また使用後は速やかに洗浄しましょう。



イラスト：ホクレンより

農薬の飛散(ドリフト)・流出防止

- ① 農薬の飛散を防ぐため、風の強い時は散布を避けます。風のない日や、早朝や夕方の無風に近い状態で散布を行いましょう。
- ② 園地の端部では、園地の外側から内側に向かって散布を行います。また、散布機の圧力を抑え、対象の作物だけに農薬がかかるようにしましょう。
- ③ 園地の周りに作付けされている作物を事前に把握し、周辺環境を十分考慮した防除計画を立てましょう。



イラスト：JA全農より

食べる人、作る人、環境に優しい農業を行い、安全で安心な農産物を生産しましょう。

お問い合わせ：
中央営農センター 営農企画指導員TACT
細谷 秀則
TEL.090-4312-3909



果樹

重点防除期間に入ります。
適切に防除し、
病害虫を防ぎましょう。



水稻

カメムシに注意！
畦畔の除草を
徹底しましょう。

輪紋病・胴枯病

- 降雨前の農薬散布が基本ですが、長雨や激しい降雨があった後も、すぐに追加散布を行いましょう。
- 枯死した花そうや枝は、徹底して取り除き、畑の外に出して適切に処分しましょう。
- 切り口から雑菌が入るのを防ぐため、大きな切り口にはペースト状の殺菌剤をぬりましょう。



せん孔細菌病

- 収穫時期に注意して、防除を行いましょう。
- せん孔細菌病がまん延しやすい条件として、多湿であることや、風が強いところなどがあげられます。田面に近い場所などは、薬剤散布による防除に加え、防風ネットの設置などせん孔細菌病が発生しにくい環境を整えることも大切です。



落葉病

- 落葉病が多く発生している園地では、落葉を集めて土中に深く埋めましょう。



灰星病

- 灰星病の被害果は見つけ次第摘み取り、土中に深く埋めましょう。



シンクイムシ類

- 7月以降はスモモ、モモを中心にシンクイムシ類の発生が多くなります。収穫時期に注意し、散布間隔を空けず防除しましょう。
- シンクイムシ類による芯折れ被害がでている枝は、見つけ次第切除しましょう。

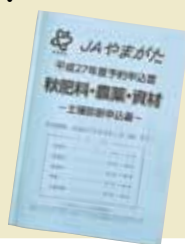


写真：やまがたアグリネットより

秋肥料・農薬・資材 ご予約受付中

JAやまがたオリジナルの肥料をおすすめしております。ご注文は、きずな担当、またはお近くの支店・グリーンへ！

7月31日まで
お申込みを
承っております。



- カメムシの増殖を防ぐため、地域ぐるみで雑草対策を行いましょう。イネ科の雑草は、カメムシ類のエサとなります。また、水田内のノビエやイヌホタルイは、アカスジカスミカメの産卵場所となります。
- 水田内に雑草が多く残っている場合は、後期除草剤が有効です。剤の特性、登録内容、使用方法等を十分に確認し、適正に使用しましょう。



お話をうかがったJAやまがた中央菊部会の酒井春美さんと、中央営農センターの土屋隆盛さん。

花菊づくりを 一生“やっていきたい”。

山形市高瀬地区と楯山地区の二帯は、昔から良質の花菊を生産してきた地域で、現在も8名の方がJAやまがた中央菊部会をつくり、首都圏に出荷しています。その中で一番の若手としてがんばっているのが酒井春美さんです。今回は酒井さんと、中央営農センターで花菊の出荷を担当する土屋隆盛さんに、お話を伺ってきました。

—— 酒井さんはJAやまがた中央菊部会で一番の若手と聞いています。どういう経緯で花菊づくりを始めたのですか？

酒井 私が嫁いできた酒井家は、もともとお米と花菊づくりを中心とした農家なのですが、主人は会社員なので、農業は義父と義母の2人を中心にやっていました。私は子育てをしながら、ときどき手伝う程度でしたが、5～6年前に子育ても一段落してきたので、本格的に農業をするようになりまして。だんだん農業が面白くなってきた頃、義母が少し体調を崩しまして、これからは私ががんばろうと認定農業者になり、菊部会にも入れていただいて、現在に至っています。



—— いまは春美さんが中心になって家の農業をされているのですか？

酒井 花菊づくりは、私が中心にな

ってやっていますが、米作りは義父が中心です。わからないところはその都度、義父母に教わりながらやっ

ています。
—— 栽培スケジュールはどのようになっているのですか？



酒井 作業は、3月上旬の「挿し芽」から始まります。前年の秋に株分けしたのを移植し、まず芽を出させます。芽が出てきたら今度はそれを定植し、その後、真ん中の芯をカットするピンチ作業を行います。この作業をすることで、まわりからたくさん

酒井 正直に言えば、一番の魅力は安定した収入があることでしょうか。東京の市場に出しても、JAやまがたの直売所に出しても、安定した価格で買っていただけなので、ありがたいと思っています。
—— それだけ中央菊部会で出荷する花菊の品質が良い、ということなのでしょうね。



ます。毎日が虫との戦いです(笑)。手間暇を惜しまず手入れしてやらないと、いい花菊はできません。でもそれを乗り越えて、無事に出荷できた時はうれしさでいっぱいです。
土屋 病害虫対策は本当に大変だと思います。中央菊部会の皆さんは、それを昔からずっと続けられていたからこそ、市場で評価され、信頼されて、今日があるのだと思います。
—— 今後の課題などありますか？

—— 出荷時期はいつごろになるのですか？
酒井 出荷は7月上旬に始まり、10月中旬まで続きます。ただ、お盆とお彼岸が需要のピークですので、それに合わせて出荷できるように計画を立てています。

土屋 たしかに中央菊部会の花菊は、市場の評価が高く、「中央の菊」として一種のブランドのように扱っていただいています。出荷先は、東京都の(株)東日本板橋花きという市場で、継続的にいい値段で買っていたでいてるので、もう何十年もここに一本で出荷しています。
—— 品質というのは、どういうところで評価されるのですか？



9月上旬に行う共助会では、各部員の圃地をまわり、品質の向上を目指します。

土屋 花や葉に病斑がなく、きれいな状態かどうかで判断されます。花菊は病害虫の被害が多い作物で、早め早めに対策をしていかないと、病斑が発生したり、アブラムシで葉が黄変・萎縮したり、いろいろな被害が出ます。高評価を得るには、それらをクリアすることが大事です。
—— 生産者の皆さんは、病害虫対策にはかなり気を遣うんですね。



出荷が始まる頃に行う目揃え会では、規格や販売方針を確認します。

酒井 義父母に聞かなくてもできるよ、早く一人前になることでしょうか。でも花菊づくりは、一生やっていこうと思っています。一緒に話し合い、継いでいける仲間が増えることを願っています。
—— 本日はありがとうございました。

JA貯金 サマーキャンペーン

2015年 8月14日(金)まで

特別金利

1年もの **0.27%** (税引後 年0.215%)
 3年もの **0.30%** (税引後 年0.239%)
 5年もの **0.35%** (税引後 年0.278%)

- 新規ご契約いただいた20万円以上のスーパー定期貯金(1年・3年・5年もの)に、特別金利が適用されます。
- ATMでのお預入れは対象外になります。
- 特別金利は初回満期時まで適用されます。

お問い合わせ
金融部貯金業務課
TEL.023-624-8268

先着順! なくなり次第終了
 200万円以上のお預入れで
 「ちょリスホッチキス」プレゼント!



各支店の窓口が夏仕様に! 工夫を凝らしたディスプレイを、ぜひ見に来てください。

理事会だより

以下の内容について、報告・協議されました。

第5回理事会「5月27日開催」

●報告事項

「経営管理部・人事部」

1. 組合員加入調書
2. 農林年金特例業務負担金の長期前納
3. 平成27年度役員研修実施計画
4. 福祉センター青田利用者数推移

「金融部」

1. 住宅ローンに係る保証会社の追加契約の検討
2. 金融移動店舗導入の検討

「資産サポート部」

1. 相談業務課事業報告(4月)

「営農経済部」

1. 青果物販売状況

「その他」

1. 平成27年4月末事業実績

●協議事項

- 第1号議案 高額・員外貸出金に係る貸付および貸出金条件変更
- 第2号議案 固定資産の取得
- 第3号議案 役員賠償責任保険の継続加入
- 第4号議案 第19回通常総代会の開催日

DIRECTOR'S OPINION 2015

役員より VOL.4



常務理事
安達 正志

共存

「地方創生」や「大規模化による強い農業」が叫ばれている。このグローバル化と称したTPPや「大企業・大都市」に偏重した政策の歪みが、地方の高齢化・過疎化問題を深刻化させ、地方衰退を加速させている。農村社会は、長年にわたり地域の先人達によって築き上げられてきた伝統文化が集積された社会風土であり、国の一方的な施策で変えていくのは容易ではない。一例として、農道や水路の維持管理は、耕作面積に関係なく管理されてきたが、これを少数の大規模農家だけで担うのは困難である。高度経済成長期の木材輸入自由化によって「里山山林」が荒廃している中、多面的機能をもつ「田園農地」を守り、将来次世代に繋げる必要がある。そのためには、専業大規模農家を軸として、家族的な小規模経営農家の営農の多様性をプラスし、また、農家がお互いを尊重し「共存」することが必要と考える。JA事業を通じて住みよい地域づくりに取り組んでまいりたい。

資産サポート

ナビ Support navigation VOL.20

資産承継業務を通して、 交流の輪が広がっています。



■5月22日／福島県の4JAが 当JAの資産サポート部を視察

JA新ふくしま、JA伊達みらい、JAみちのく安達、JAそうまで構成する福島県北地区JA合併推進協議会が、当JAの資産承継業務を視察するため、本店にご来店されました。4JAは平成28年3月に合併、JAふくしま未来としてスタートする予定で、資産承継業務を事業の一環として盛り込んでいます。JAみちのく安達の菅野廣一常務理事は「これからのJAにとって、資産承継業務は必須だと考えている」と話していました。



お問い合わせ
資産サポート部
TEL.023-624-8260

■5月18・19日／JA世田谷目黒 の方を講師に研修会を開催

講師にJA世田谷目黒の床爪晋特別顧問をお招きし、本店で、事業承継・相続相談業務研修会を行いました。参加した支店長は「資産承継業務を広めるため、組織の会議等で短時間でも話題に取り上げていきたい」と話していました。

■6月22～26日／JA世田谷目黒 の職員が当JA管内で農業研修

JA世田谷目黒に勤務して3年目の山火理さんと袴田直宏さんが、当JA組合員の田中源治郎さんのもとで農業研修を行いました。この研修は人材育成の一環として、両JAが初めて取り組むもので、2人は田中さんの家に宿泊しながら、花菊の定植作業やサクランボの収穫作業などを行いました。山火さんは「サクランボの産地で、直接プロの生産者から学ぶことができとても勉強になった」、袴田さんは「普段は資産承継の業務をしているが、農作業の経験は今後組合員の方とお話するときに役立つと思う」と、それぞれ研修の手ごたえを感じていました。



福祉センター青田 健康 コラム vol.15

6月の通所介護



避難訓練(水消火器訓練)



畑教室 福祉センター青田ファーム



プランター教室 パッションフルーツでグリーンカーテン

熱中症について

熱中症は、夏の強い日差しの時だけでなく、身体が暑さに慣れない梅雨明けの時期にも起こります。屋外だけでなく、高温多湿の室内でもなりやすいので、自分で出来る熱中症対策を心掛けましょう。

1. 暑さに負けない体作りをしよう!

日常的に適度な運動を行い、水分(牛乳・スポーツドリンク・麦茶等)、栄養のある食事(夏野菜・豆類・肉類等)、十分な睡眠をとる事が大切です。

2. 暑さに対する工夫をしよう!

適度な空調(室温28℃以下、湿度50～60%)で室温を快適に保ちましょう。また通気性の良い服を着るなど、衣服を工夫しましょう。

[夏バテ予防レシピ] チキンの梅肉ソースかけ

鶏肉…1枚
 [梅肉ソース]
 梅干し(チューブでも可) …40g
 ごま油・醤油・酢…各大さじ1
 砂糖…大さじ2、かつお節…2つまみ

- ① 鶏肉以外の材料を全て混ぜ合わせ梅肉ソースを作っておく。
- ② 鶏肉をフォークで刺し柔らかくする。
- ③ 油をひいたフライパンで、皮面を下にして焼く。蓋をして皮がパリパリになるまで焼く。
- ④ 裏返し、反対側を少し焦げ目が付くくらい蓋をして焼く。
- ⑤ 焼きあがった鶏肉に梅肉ソースをかけて出来上がり。

お問い合わせ **福祉センター青田 TEL.023-616-8002**
 介護サービス事業／通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

もっと「山形のサくらambo」！PRの動きが広がっています

山形さくらambo世界一プロジェクト 世界へ「山形SAKURAMBO」を届けよう

平成27年度、山形県で取り組む新事業として「山形さくらambo世界一プロジェクト」が始まりました。世界市場で流通している「CHERRY」との差別化を図り、最高級グレードとしての「山形SAKURAMBO」の海外展開を進めるための、中長期的なプロジェクトです。①世界に類を見ない超大玉品種（4L）の開発、②海外富裕層をターゲットとした高級サくらamboの輸出推進、③大規模化・軽労化に向けたロボット開発および活用の3つを柱に、地域ブランドとして更なる高みを目指し、オール山形体制で「山形SAKURAMBO」のブランド確立を図ります。

未来を担う 地域の子供たちへ

生産者による食育の一環として、サくらamboが小学校へ贈られました



南金井地区運営協力委員会等（佐藤錦19kg）／6月16日／南山形小学校・みはらしの丘小学校



出羽果樹組合（佐藤錦10kg）／6月23日／出羽小学校

第4回 日本一さくらambo祭り

6月20日、21日に開かれた第4回日本一さくらambo祭りにJAやまがたも参加し、JAビル前や文翔館前で、贈答用サくらamboなどを販売しました。当日気温が高かったこともあり、（株）山形食品のサくらamboウォーターや山形さくらamboサイダーも人気でした。JAビル前に設置されたJAグループ山形のブースでは、山形牛ステーキや冷やしトマトの販売、山形県牛乳普及協会によるサくらamboミルクのふるまいなどで、山形県の安全で安心な農産物をお客様にアピールしました。



流しサくらamboのコーナーは多くの人でにぎわいました。



JAやまがたのブースでは、贈答用サくらambo、サくらamboウォーターなどが販売されました。



JAやまがたホームページでも
随時トピックスを更新中！

JAやまがた

検索

JA NEWS TOPICS

管内の主な出来事をご紹介します



6月20日、JAやまがたおいしさ直売所の各店で、当JAの新しい情報誌「クローバー」の配布イベントを行いました。クローバーは、当JAから消費者や地域の皆様への情報発信力を強化するため創刊したもので、この日はJAバンクやJA共済のチラシも一緒に配布し、JAの総合事業をPRしました。またクローバーに掲載した「トマトソースの冷製パスタ」の試食会も行いました。当JAでは、おいしさ直売所を情報発信と収集の拠点と位置付け、今後もさまざまなPR活動を行っていく予定です。

新情報誌「クローバー」 JAの総合事業をPR



農林水産省は国産花き振興のため今年から本格的に「国産花きイノベーション推進事業」を展開しています。その一環として山形市花き連絡協議会では、山形市内の各所で、花の展示や花育講座などを開き、地元の花をPRしています。6月6日から山形まるごと館紅の蔵で展示されたフラワーアレンジメントには、中央営農センターと西部営農センターが提供した7種類の花が使用されました。山形市花き連絡協議会は、当JAとJA山形市の花き部会員で構成されています。

地元産の花を飾ってPR 国産花きイノベーション推進事業



組合員と連携し 芸工大生が授業で田植え体験

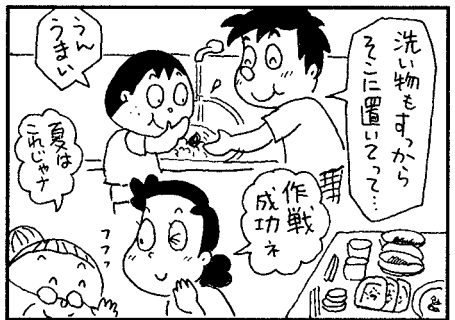
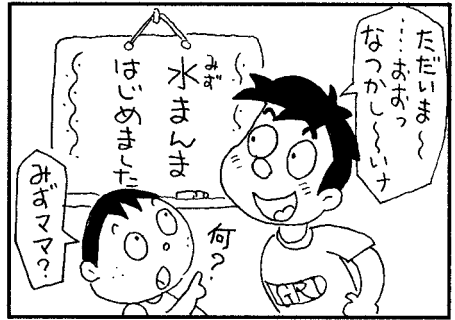
東北芸術工科大学の建築・環境デザイン学科では、地元の組合員の方と連携し、「食と農のまちづくり」をテーマにした授業を展開しています。土地の成り立ちや地域性について深く理解し、自然と社会が調和したデザインを模索するのが狙いです。5月30日、休耕田を活用しようと学生14名が田植えを行いました。昨年の授業で収穫した酒米は、（有）秀鳳酒造場で仕込まれ、今年の夏頃、（株）全農ライフサポート山形から販売される予定です。



東海山形高校で交通安全教室 事故を再現し安全意識を喚起

6月9日、JAやまがたは東海大学山形高等学校の1年生を対象に、自転車の交通安全教室を開きました。これは、JA共済の交通事故防止活動の一環で、時速40kmで走る車と、スタントマンが乗った自転車が衝突する交通事故などが再現され、生徒の皆さんは安全に自転車を運転することの大切さを学んでいました。生徒の1人は「ルールを守らないと事故につながると痛感した。気を付けます」と感想を語ってくれました。





読者の広場投稿募集

記入例を参考に郵便はがきでご応募下さい。
締め切りは、7月20日(当日消印有効)です。
●プレゼント／「パズル」の正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
当選者は発送をもってかえさせていただきます。
●お問い合わせ／JAやまがた広報係
TEL.023-624-8265 FAX.023-631-4714
kikakukanri@jayamagata.or.jp

52	990-8535	山形市旅籠町 JAやまがた 二丁目12 35
読者の広場 JAやまがた 二丁目12 35		

●先月号のパズルの答え「トウガラシ」



【第1回】開校式・田植え・ 里いもとネギの定植

JAやまがたわんぱくあぐりスクールが、今年も開校しました。このコーナーでは、参加した生徒の絵日記と、担任の先生(入組2、3年目職員)のお返事を紹介します。

5月23日 晴れ
1組1班 千歳 公太郎
今日は2015年度わんぱくあぐりスクール開校式でした。最初にやっ
た里いもとネギの定植はうまくでき
ました。次の田植えは少しなまめに
なっていました。でもこれから
がんばっていききたいです。
【先生よりお返事】
里いもとネギも今は小さいけれど、ど
んどん大きく、おいしくなるといいね。
田植えも公太郎君がいっぱい植えてく
れたおかげで、秋にはおいしいお米が
できるはず。いっぱい食べて大き
くならう！(宮川支店 浅野慎吾)

PUZZLE
パズル?
頭の体操
出題●ニコリ

3名
図書カード
1,000円分
プレゼント!

↓タテのカギ
2 へんがくをひく世界地図
6 船が海底に下ろす物
8 「レマン」袋98円のもの
98円部分
舟をこぐ道具
おけの胸を締め付ける輪
風呂上がりに使います
辞書で言葉の「を調べた
晴れた日の空の色
旧国名の一つ。現在の奈良県
敷布団に掛ける布
「。」と「。」の「

→ヨコのカギ
1 緑と黒のしま模様がある果実
2 南米にある南北に細長い国
3 実からかんびょうを作ります
4 ゴーヤーもメロンもこの仲間
5 疑わしく思う気持ち
7 牛や馬が食べます
10 柔道場に敷かれている物
12 飲み物を入れて持ち歩きます
13 「擬餌鉤」ともいいます
14 医師や看護師が、手首に触れて測ります
17 妻と対になる言葉
19 彼女はみんなの憧れの――だ
20 ろうそくの火を付ける部分

1	6	9		14	18	21
	7		11		19	
2			12	15		
		10				
3	8				20	
4			13	16		
5				17		

ESSAY 山形の風景



illustration : Kikuchi Toshiaki

「桑の実」と親孝行

岩井哲

私がまだ小学校低学年だった昭和30年代の話である。
当時も町中の今と同じ場所に住んでいたのだが、まだ家の周辺には桑畑がたくさん広がっていた。さすがに現在はすっかり住宅街になり、桑の木どころか農地すらあまり見られなくなってしまっている。そして母の実家が町場の近くの停留所からバスで15分ほど東方の原口(上市市)という村にあり、よく遊びに連れられて行ったものだった。
家に入ると、さすが「お蚕様」という言葉が生きていた時代だけあって、人間が暮す空間を切り詰めてつくったとおぼしき部屋いっぱい蚕棚があり、その中で桑を食べる蚕たちがカサカサと動き廻っているのだった。蚕

に敬称の「様」までついていることの意味はさぞかし深いものなのだろうと思いを巡らすと、その音がかすかにまだ耳の中に残っているような気さえしてくる。日本の近代化を支えた生糸産業が日本の基幹産業として君臨し、その輸出で得られる外貨が国の貴重な財源として大きなウエイトを占めていたのである。それから間もなくしてアメリカでナイロンが発明され、生糸産業は一気に衰退して行くことになるわけである。
さて、話は桑畑を走り回っていた半世紀以上も前にタイムスリップしているので、今の若者に「桑の実」と言ってもわかる人はいないかも知れない。野いちごをいくらか細長くしたような形状の桑の木につく実で、熟すと紫色になる果実だ。おやつなどめったに貰えない私たちにとって、またとないご馳走だったのである。昏が紫色に染まるまで食べ歩いたものだ。そればかりではない、これが親孝行の道具にもなっていたのである。いくつもの桑畑を巡るともはや食べ飽きてくるのに、さらに袋一杯ぐらゐの桑の実を簡単に収穫できるのだ。家に持ち帰る途中転んで実が潰れ着衣を汚して怒られたこともあったが、その桑の実にはジャムの原料として母に歓迎されるものだったのである。親に喜んでもらう機会などほとんどなく、日頃悪態ばかりついていた子どもにとって、袋一杯の桑の実を家に持ち帰ることは大事な儀式めいた行為でもあった。なんとも懐かしい思い出なのである。

読者の広場

●サクラランボを親戚、友人に送りました。甘くておいしいと喜ばれました。(中山町 Mさん) ●今年収穫量が少なめとのことですが、味は変わらず一級品です。先日畑で採れたての紅秀峰をいただいたのですが、本当に甘くて美味しかったです。

●先月号のアグリくん、「おにぎらず」→「寿司まかず」なかなか面白かったです。(山辺町 Aさん) ●「おにぎらず」、手軽で具のバリエーションが多いと人気ですね。アグリくんのお母さん、お寿司でアレンジするとはアイデア豊かです。

●サクラランボとリンゴを作っています。営農ひとことアドバイス、果樹の管理に参考になります。(山形市 Sさん) ●ありがとうございます。営農企画指導員の皆さんには、季節に合った情報を提供していただくようお願いしています。

花と暮らす



四季の生け花
華道家元池坊 小山雅子

7月の花／今野恵月 作

○花材 夏はぜ／パンジー／大てまり
オクラレカ／カーネーション／すずらの葉
ゴールドコイン／アンズリュウム／都忘れ
協力：(株)出羽園